

令和7年度第7回一関市総合計画審議会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第7回一関市総合計画審議会
- 2 開催日時 令和8年1月15日（木）午後2時から4時まで
- 3 開催場所 議員全員協議会室
- 4 出席者
 - (1) 委員 阿部利彦委員、泉賢司委員、伊藤拓也委員、宇津野泉委員、
及川恵理子委員、大内早智子委員、小山亜希子委員、小岩邦弘委員、
西條恵美子委員、齊藤裕美委員、佐々木承子委員、東海林訓委員、
菅原美津代委員、千田久美子委員、千葉真美子委員、徳谷喜久子委員、
藤本千二委員、船山賢治委員、星義弘委員、吉田捺委員、吉田正弘委員
 - ※欠席者 岩淵一司委員、小山健委員、加藤沙央里委員、菊池正人委員、
佐藤ひかる委員、千田好記委員
 - (2) 事務局 今野薫市長公室長、飯村昌弘市長公室次長兼政策企画課長、
吉田健総務部次長兼財政課長、千葉健一財政課長補佐兼財政企画係長、
小山隆之政策企画課長補佐兼政策推進係長、
佐々木さやか政策企画課主任主査、渡辺苑子政策企画課主任主事、
千葉諒太財政課主任主事
 - (3) 一関市総合計画策定支援業務受託者 株式会社邑計画事務所 及川一輝取締役

5 議題

- (1) 次期総合計画実施計画の概要について
- (2) 新市建設計画の変更（案）について
- (3) 一関市過疎地域持続的発展計画（案）について
- (4) 次期総合計画前期基本計画冊子レイアウト等について

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者の数 3人（うち報道機関 3社）

8 小岩会長挨拶

本日はお忙しいところ出席いただきありがとうございます。

我々の任期は3月までとなっており、会議の進み方次第では今回が最後の会議となる。

昨年10月に市長へ答申した前期基本計画について、パブリックコメントを経て、市議会12月通常議会に提案され、議決となった。

本日は計画書のレイアウトと今後の周知方法について皆様からご意見をいただきたいと考えているのでよろしく願います。

9 審議内容

(1) 次期総合計画実施計画の概要について

事務局から資料No.4に基づき説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 1ページの基本構想の説明に「将来像の実現のためのまちづくりの基本理念と基本目標を定める」とあるが、これから定めるものか。

事務局 基本理念と基本目標は既に基本構想の中に含まれている。基本理念という言葉は基本構想の中に出てこないが、基本構想全体で基本理念を定めているという考え方である。基本目標は、基本構想で定めた「将来像を実現するための基本目標」を指している。

(2) 新市建設計画の変更（案）について

事務局から資料No.5-1、資料No.5-2に基づき説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 追加事業に大きな事業があるが、これらの事業も5年間で終了しなければならないのか。また、合併特例債は全体の事業費にどのくらい充当できるのか。

事務局 この計画に掲載されている事業は合併特例債を借りることができ、事業への充当率が95%で、償還額の70%が地方交付税で措置されるという有利な起債である。そのため、想定される事業はできる限りこの計画に掲載したいという考えである。

計画の期間中に実施する事業について借りるものなので、基本的には令和12年度までに実施する事業について適用される。

委員 できるだけこの5年の間に実施したほうが良いということか。

事務局 令和12年度までという期限が定められている財源なので、できる限り期間内に実施する必要があると考えている。

(3) 一関市過疎地域持続的発展計画（案）について

事務局から資料No.6-1、資料No.6-2に基づき説明を行った。質疑等なし。

(4) 次期総合計画前期基本計画冊子レイアウト等について

事務局から資料No.1、資料No.2、資料No.3に基づき説明を行った。以下質疑応答等。

委員 色合いが柔らかい印象でとても良い。また、市民インタビューのページも様々な年代、分野の方へインタビューをしていて、見やすい形でまとまっている。

6、7ページの「いちのせきってこんなまち！」について、良いページだと思うのでより見やすくなるようレイアウトをもう少し工夫してほしい。

委員 色合いが素晴らしく、書体もこだわっているのが伝わってきて、自然に目移っていく感じがある。

ページによっては空白が目立つので、他のページとのバランスを見て調整を

お願いしたい。

委員 本当に見てほしい人にどのようにして見てもらうかが、今後の周知における課題だと考える。

4、5ページに一関市の形が掲載されているが、一関市を紹介するときには象のような形と伝えている。今後も一関がさらに発展するように願っている。

委員 紙質によっては淡い色が出にくくなるので、製本する際にはこの色合いがそのまま生かされるような紙を使用いただきたい。また、一関市はSDGs未来都市に選定されているので、再生紙を使用するのも良いと思う。東山和紙を表紙に使うことも考えられる。

全体的に、レイアウトはこのような形で良いと思う。

委員 分かりやすくまとまっており、このような構成で良いと思う。空白が目立つページがあるので、イラストや写真を入れると計画書を手に取った人の目に入るのではないか。

委員 全体的に大変素晴らしい内容だと感じた。

14、15ページの市民インタビューについて、最初に写真に目がいくので、写真の近くに名前等があると良い。

また、概要版の裏面の中目標の記載がバラバラな印象を受けるので、見やすくなるような工夫がほしい。

委員 仮の表紙に、将来像が縦書きでレイアウトされており、今までとは違う印象があり、ここにどのようなイラストが入るかとても楽しみである。

あまり硬くない紙を使用すると、この柔らかい雰囲気が伝わると思う。

周知方法について、小学校や中学校、高校にも配布してはどうか。概要版は広報で見える機会があると思うが、冊子全体で見える機会はあまりないので、若い人たちにも見てもらえるよう、配布先について検討いただきたい。

委員 ページ数の文字が小さいので、記載の位置も含めて検討をお願いしたい。

全体的に黒字が多いので、色分けの工夫があっても良い。

また、ページの右端に見出しがあるとページをめくりやすいのではないか。

委員 5年間の前期基本計画ができたので、今後は実施計画により事業を進めていくこととなる。一番の課題は人口減少が加速度的に進んでいることなので、少しでも人口減少を抑制するために、計画を着実に進めていかなければならないと改めて感じた。将来展望人口を知らない方が多いと思うので、中学生や高校生に現実を知ってもらい、今後どのようにしたらよいか考える機会になれば良い。

委員 見開き 1 ページで内容が伝わるのが大変良い。

この計画書を若い人たちに見てほしい。一関市の方向性、人口減少の現状を知り、一関市の魅力の発信につなげていただきたい。

概要版をベースに広報に記事を掲載することだが、広報の記事にすると小さくなってしまうので、広報に折り込んではどうか。

委員 前回の計画書と比べて、手に取りやすいデザインになったと思う。

29ページに「P11の総合戦略」という記載があるが誤りだと思うので修正をお願いしたい。

委員 計画書の配布先について、概要版だけでも欲しい人は持ち帰ることができるようにしてはどうか。

委員 24ページがほかのページに比べて暗い印象がある。黒色が多いので検討をお願いしたい。

31ページの重点 3 を囲う丸が薄くて見えない。

36ページ以降の個別ページについて、SDGs のアイコンが表示されているのは、SDGs との関連性が伝わるので良い。右側のページに黒色が多いので、左側のページに比べて重たい印象を受ける。

周知方法については、計画策定時にお知らせすることも大切だが、進捗状況を定期的にお知らせすることも必要だと考える。

委員 委員の皆さんの活発な議論と市の取組の成果が形になったものと思う。

出来上がって終わりではなく、これからは計画に掲げたことを実現するために取り組んでいくことになるので、特に市の各担当課には頑張ってもらいたいと期待している。

これまでの計画は字が詰まっている印象であったが、今回は、色合いやフォント、文字の配置などが柔らかい印象で、余白も適度にあり読みやすいと感じた。文字数が多いページや漢字が多いページがあるので、イラストや写真を入れるなど読みやすくなるような工夫が必要である。

4、5ページの「いちのせきってこんなまち！」のイベントや名勝の近くに写真を入れてはどうか。観光パンフレットと役割が異なることは承知しているが、写真があったほうがより親近感が湧くと思う。

周知方法について、中学生や高校生向けに「一関市の将来を考える」というテーマで特別授業を実施して、人口の将来予測やまちづくりに関する市の考えを説明し、出てきた意見を施策の参考にしてはどうか。若い人のまちづくりに対する関心が深まると考える。

また、難しいかもしれないが、検索機能があるとより使いやすくなるのではないか。

委員 色の識別が苦手な人もいるので、極端に淡いコントラストは使用しないほうが良い。目次に淡いグリーンに白字で記載しているところがあるので、背景を濃くするか字を黒にする工夫が必要である。

23ページの取組の体系の中で、重点プロジェクトと総合戦略を囲う四角の下に影が入っているが全体のテイストに合わないのではない方が良い。

56ページ下の図に不要な文字が入っているので確認し修正いただきたい。

委員 審議会委員になって最初の会議で、総合計画というものがあることを知らなかったと話した。せっかく素晴らしいものができたので、市民に身近に感じてもらえるよう、手に取る機会を増やしてほしい。

総合計画の動画を作成し、動画を窓口にしてホームページのリンクに飛んで計画をみてもらうというのはいかがでしょうか。小学生や中学生の教科書を見ると、優しい色合いでイラストがたくさんあり、字が少なく余白が多い。字を読むということに抵抗感がある人たちが大人になってきているので、計画書は今の状態でも字が多いと感じる人がいると思う。写真やイラストをうまく活用してほしい。

レイアウトについて、「挑戦」を強く伝えたいページはもっとインパクトがあってもよい。字だけでは弱いので、ページを多く使ってイラストを入れるなどしてインパクトのあるページとなるよう検討してほしい。

1ページに市長インタビューが掲載されているが、「人口減少への対処」というネガティブな言葉から入るので、将来像などポジティブな言葉から始めたほうが良い。

委員 活字離れをしたことがある自身の経験から、堅い題目の厚い冊子が置いてあってもこれまでは手に取らなかったと思う。しかし、今回の冊子を開くと「いちのせきってこんなまち！」や「市民インタビュー」など興味深いおもしろいページがあり、開かなければ知ることができなかつた一関の情報がたくさんあつた。

将来を担う中高生に、総合計画を説明して一方的な授業を行うよりも、10年後を一緒に考えるワークショップを行い、このワークショップを入口に総合計画の周知を図っていくのも良いと考える。

委員 パステルトーンがとても良く、これだったら読んでみたいと思えるような仕上がりである。市民インタビューの写真も皆さんの笑顔が素敵で、ここまで良い笑顔を引き出すことができたのが素晴らしいと思った。

73ページの扉ページで使用している色が後に続くページで使用している色と異なるので修正をお願いしたい。

4、5ページの「いちのせきってこんなまち！」は大変わかりやすいので、写真やイラストが入るとさらに良くなると思う。新幹線のイラストをはやぶさ色に変えてはどうか。また、ゆるキャラを載せるのも良いと思う。

ページを開いてもらえば、良い内容が詰まっているので、開いてもらえるような表紙になることを期待している。

委員 用語解説の用語と説明の区別があまりつかないので、もう少しメリハリがあっても良い。

地元の図書館では企画展を定期的に行っているのですが、これまでの一関市総合計画の企画展があると市民に見ていただく機会が増えると思う。図書館の方に話してみようと思う。

何か必要があるときに見る計画書だと思うので、計画書を見ざるを得ないような活動を繋げていけたら良いと考えている。

副会長 委員の皆さんは現計画の冊子をこれまで何回開いたかということも自分のことも含めて考えていた。これまでの計画書に比べると、柔らかい印象で分かりやすく良いものができたと感じている。

会長 3ページの「はじめに」の推進体制に市民が出てこないのが気になった。

また、6、7ページの「いちのせきってこんなまち！」のキーワードと説明が結びつきにくいので、レイアウトを検討いただきたい。

全体的に優しい雰囲気が良いと思う。

事務局 レイアウト全般について、いただいたご意見を参考にイラストの追加や文字数の調整を行う。

紙質については、印刷会社に相談をしながら使用している色が綺麗に出るような紙質を選びたいと考えている。

計画書を手に取り開いてもらうためには表紙が重要と考えている。各地域の魅力が散りばめられ、その中で人々がいきいきとしているようなイラストをデザイナーが作成している最中である。

周知方法について、動画作成も含めて検討していく。予算の都合上、印刷部数が限られるので、その中で最適な配布先を検討していきたい。

計画書が完成し皆さんにお届けした際に、本日の会議時よりも良くなったと思っただけのよう、引き続き調整を進めていく。